

【第1回】 習志野市制施行70周年記念事業実行委員会 議事要旨

1 開催日時 令和5年5月8日(月)午後1時30分～午後2時35分

2 開催場所 習志野市庁舎3階 AB 会議室

3 出席者

【構成員】	市長【会長】	宮本 泰介	副市長	諏訪 晴信
	教育長	小熊 隆	企業管理者	市川 隆幸
	習志野市社会福祉協議会会長	高橋 勝	習志野商工会議所会頭	芦澤 直太郎
	習志野市農業委員会会長	三代川 彦博	習志野市芸術文化協会会長	中谷 時男
	習志野市スポーツ協会会長	伊藤 寛	習志野市連合町会 連絡協議会会長	鈴木 とし江
	習志野市小・中学校長会会長	蓮 一臣		
【事務局】	総務部長	遠藤 良宣	総務部次長	佐々木 博文
	総務課長	中野 幸子	総務課主任主事	林 優樹
	総務課主任主事	齋木 若菜		

4 議題

・委嘱状交付式

第1 会議の公開(非公開)

第2 会議録の作成等

第3 監事の選任

第4 審議

(1) 事業概要(案)について

(2) 記念事業実施スケジュール(案)について

(3) 令和5年度予算(案)について

(4) 記念事業について

① 企画準備委員会について

② 記念事業の実施について

第5 報告

(1) 今後の会議日程について

第6 その他(事務連絡等)

5 議事内容

日程第1 会議の公開(非公開)

会議は要綱の規定により、原則公開となっているため公開すること、ただし、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度諮ることで承認された。

日程第2 会議録の作成等

会議録については要点筆記とし、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することで承認された。

日程第3 監事の選任

互選の方法について、三代川委員より会長一任との意見があり、承認された。

このことにより、宮本会長より高橋委員が指名され、監事に選任された。

日程第4 審議

(1) 事業概要(案)について

【議事要旨】

・本市は昭和 29 年 8 月 1 日に千葉県下で 16 番目の都市として誕生し、令和 6 年に市制施行 70 周年を迎える。この節目となる 70 周年を市民をはじめ、企業、各種団体と祝うとともに、これまで先人たちが築き上げてきた本市の歴史や文化を再認識し、希望ある未来へ繋ぐまちへの飛躍の年となるよう、市民、企業、各種団体及び市が一体となって、次のとおり記念事業を実施する。

- (1) あらゆる世代が積極的に参加できるもの
- (2) 人とのふれあい、心のつながりを持つことができるもの
- (3) 市の産業、歴史、文化、伝統などを踏まえたもの
- (4) まちの魅力を広く市内外に伝えるもの
- (5) 市全体が活力にみち、元気になるもの

・実施期間は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日(令和 6 年度)までとしている。

・記念事業のうち、市が主催する「市主催事業」は 4 つの事業で構成している。

・一つ目が「記念式典」である。記念式典は、これまで習志野文化ホールで行っていたが、現在は休館中のため、別会場での実施となる。会場については今後検討し、意見をいただくことになるが、日にちについては、令和 6 年 10 月 26 日(土)を予定している。なお、前回の 60 周年記念式典の入場者数はスタッフを含め約 1,700 人であった。

・二つ目の「記念事業」は、新規の記念事業として各部局が各種記念事業を実施するものである。

・三つ目の「冠事業」は、例年実施している市の事業に対し、「市制施行 70 周年記念」の冠名を提供し、盛り上げていくものである。

・四つ目は「広報 PR 事業」として、70 周年を記念して、習志野市を全国、千葉県及び市民に向けて、更なる PR 発信をするための事業を実施する。具体的には、キャッチフレーズ、ロゴマークの制作などを考えている。

・記念事業のうち、「市民主催事業」については、2 つの事業で構成している。

・一つ目は「冠事業」として、例年実施している、団体・市民等の事業に「市制施行 70 周年記念」の冠名を提供し、盛り上げていくものである。

・二つ目は「企画記念事業」として、団体・市民等が 70 周年を記念して企画・立案する行事等に対して、物品等の貸し出しをするものである。具体的には、ナラシド♪の着ぐるみの貸し出しなどを想定している。

・実施体系は、市民・企業・各種団体・市職員が一体となって記念事業を実施していくとともに、実行委員会、企画準備委員会及び事務局との関係が相互で関係していくものとなる。

(2) 事業概要(案)について

【議事要旨】

- ・記念事業実施スケジュールとして、令和5年度は実行委員会は本会議を含めて3回、企画準備委員会は11回を予定している。その他、キャッチフレーズ・ロゴマークの検討や、70周年市政功労者表彰に向けた表彰審査委員会の開催などを予定している。
- ・記念事業については、令和6年4月から3か月ごとに、4つのステージに分けて実施していく。なお、記念事業の一つとして、タイムカプセルの開封がある。これは、50周年の時に旧庁舎側に埋めたものだが、現在は市庁舎駐車場の脇に移設している。20年後の8月に開封する旨を周知しているため、令和6年8月の開封を予定している。

(3) 令和5年度予算(案)について

【議事要旨】

<歳入>

- ・市からの補助金として、300万円が組み入れられる。

<歳出>

- ・科目別に項目だてをし、適正な会計執行を図っていく。
- ・令和6年度の予算案については、本年度に検討した内容を含めて、別途、承認をいただく予定である。

(4) 記念事業について

①企画準備委員会について

②記念事業の実施について

【議事要旨】

- ・企画準備委員会については、実行委員会の下部組織としての位置づけとなり、委員構成は18人以内とし、記念事業の計画案の策定などを行う機関である。委員については、市の各部局や関係機関の若手職員から選任していきたいと考えている。
- ・記念事業の実施については、市の関係各課より、記念事業の提案を募集し、企画準備委員会において集約、整理した上で、その後、実行委員会において、70周年記念事業を実施する具体的な項目を決定していただく手法としたい。なお、前回の60周年では、ナラシド♪の作成や市歌の制作を主な記念事業として実施している。

日程第5 報告

事務局より今後の日程について報告があった。

第2回 8月21日(月)午後1時30分～

第3回 10月23日(月)午後1時30分～